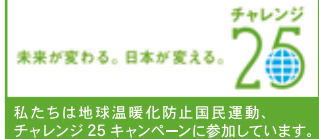


第60期中間報告書

KONDOTEC REPORT

平成23年4月1日～平成23年9月30日



コンドーテックは地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チャレンジ25」に加盟し、企業理念にあります「豊かな社会づくりに貢献します」を实践すべく環境問題に取り組んでおります。



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに平成24年3月期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 11 月



代表取締役社長 菅原 昭

● 当第2四半期の業績

平成 24 年 3 月 期 第 2 四 半 期
連 結 累 計 期 間 の 業 績 結 果

売上高 **18,607** 百万円
(前年同期比 +9.7%)

営業利益 **901** 百万円
(前年同期比 +128.0%)

経常利益 **940** 百万円
(前年同期比 +112.7%)

四半期純利益 **513** 百万円
(前年同期比 +33.6%)

【連結経営成績】

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による直接的な被害に加えて、生産活動にも大きな影響が生じました。その後、サプライチェーンの急速な復旧から持ち直しの兆しが見られるものの、原発事故に伴う電力の供給制限や放射能汚染、欧州の金融不安や米国経済の回復の遅れを背景にした円高・株安など懸念すべき問題も多く、先行きの不透明感を払拭できない状況が続いております。

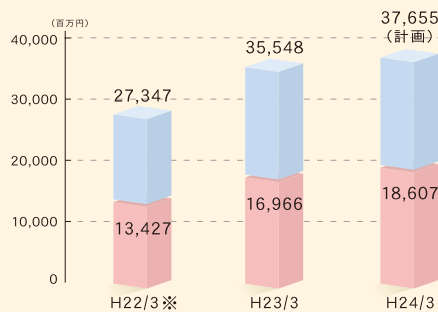
当社グループ関連業界におきましては、被災地域で復興に向けた建築需要も徐々に始り、首都圏や近畿圏など、全国的に震災後に手控えられていた建築物件も出てきたものと推察されます。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

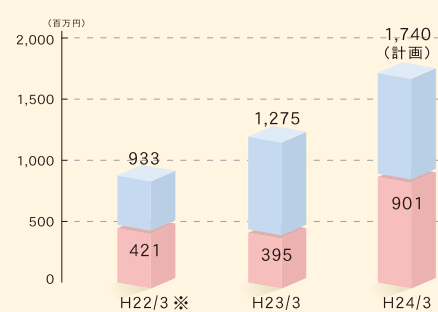
また、災害復旧や耐震資材を取扱う当社グループとして、震災後の緊急需要や台風による土砂災害・河川の氾濫などの災害復旧需要に、当社グループの総力を結集し順次対応してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,607百万円(前年同期比9.7%増)となりました。利益面につきましては、復興需要による売上増と売上総利益率の改善により、営業利益は901百万円(前年同期比128.0%増)、経常利益は940百万円(前年同期比112.7%増)、四半期純利益は513百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

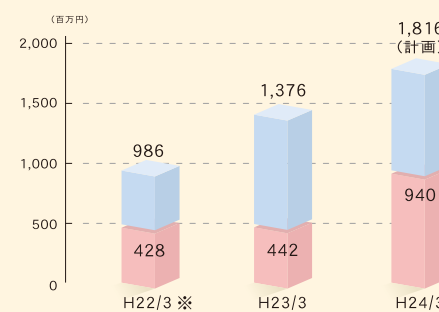
売上高



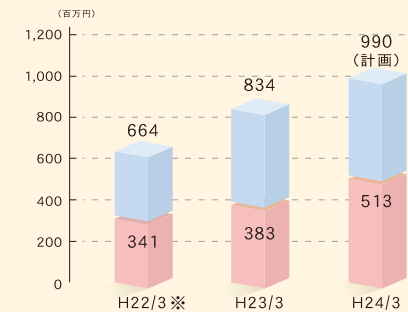
営業利益



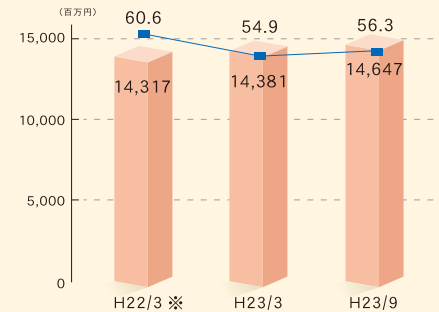
経常利益



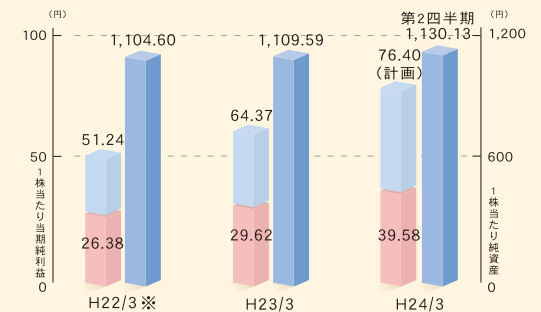
当期純利益



純資産・自己資本比率



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産



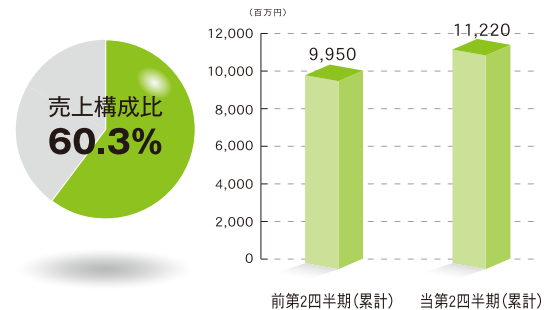
※平成22年4月に子会社を取得し、単体決算から連結決算に移行したため、H22/3の数値は単体決算であり、参考値です。

【部門別業績】

当第2四半期連結累計期間における部門別の業績は次のとおりです。

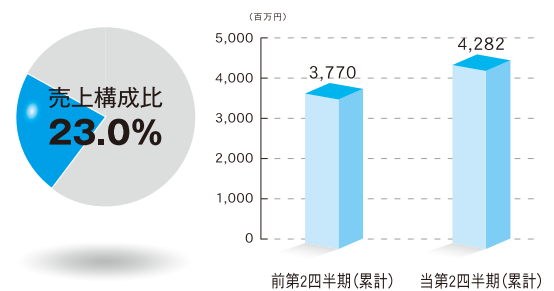
▶ 産業資材部門

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している産業資材部門は、震災後の応急仮堤防工事や台風による土砂災害・河川の氾濫などの災害復旧向け資材の安定供給に努め、現場用品や仮設足場部材への需要の高まりもあり、産業資材部門の売上高は11,220百万円(前年同期比12.8%増)となりました。



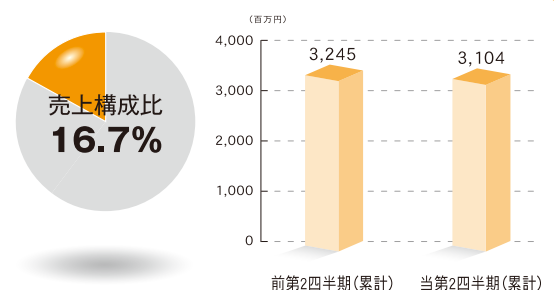
▶ 鉄構資材部門

推定鉄骨需要量は若干の回復基調で推移する状況に押しとどまりましたが、応急仮設住宅向けのターンバックル・ブレースやその関連部材など震災後の緊急需要に順次対応し、学校施設など耐震補強工事の需要の増加もあり、鉄構資材部門の売上高は4,282百万円(前年同期比13.6%増)となりました。



▶ 電設資材部門

東日本大震災後の不透明感から、着工建築物並びに設備投資需要は低調に推移しましたが、地上デジタル放送への完全移行に向けた駆け込み需要や太陽光発電・エコキュートなどの省エネ・環境関連需要を積極的に取込み、電設資材部門の売上高は3,104百万円(前年同期比4.4%減)となりました。



● 通期の見通し

平成24年3月期の連結業績予想

売上高 **37,655 百万円**
(前期比 +5.9%)

営業利益 **1,740 百万円**
(前期比 +36.4%)

経常利益 **1,816 百万円**
(前期比 +32.0%)

当期純利益 **990 百万円**
(前期比 +18.7%)

通期の業績予想につきましては、東日本大震災後の原発事故に伴う電力の供給制限や放射能汚染、欧州の金融不安や米国経済の回復の遅れを背景にした円高・株安など懸念すべき問題も多く、先行きの不透明感を払拭できない状況が続くと思われます。

このような状況のもとで、当社グループは受注競争、価格競争に耐えうるコスト競争力を高め、自社製品・輸入商材・新商材の拡販と新規販売先の開拓の四つの重点施策を実行するとともに、連結子会社の三和電材株式会社と事業拡大を図ってまいります。

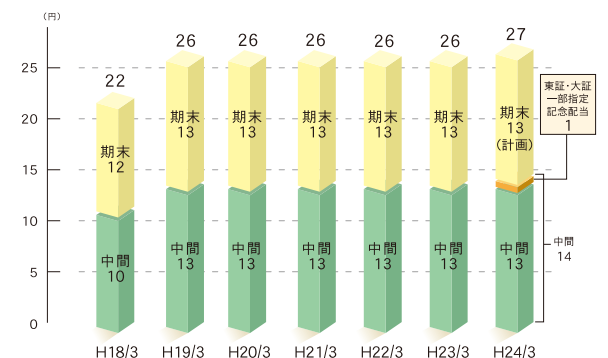
● 配当金

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」、「企業価値の増大」を図りながら、配当性向を勘案し、安定配当を目指すことを基本方針としております。

なお、平成24年3月期の中間配当金は、平成23年4月27日に東京証券取引所及び大阪証券取引所の市場第一部銘柄として指定されたことに伴い、株主の皆様へ感謝の意を表するため、1株につき普通配当13円に記念配当1円を加えた14円とさせていただきます。

1. 中間配当金 1株につき14円
2. 支払開始日 平成23年11月28日(月)

1株当たり配当金



TOPIC 1 IRフォーラム2011東京へ出展

平成23年8月27日～28日に東京・神宮球場横のTEPIA（テピア）にて開催されました個人投資家向けのIRフェア「IRフォーラム2011東京」に出展いたしました。

2日間の開催で、入場者数は累計約2,000名で、その内、約300名の方々に当社ブースへ足を運んでいただきました。

今後も、個人投資家の皆様との対話を継続的に実施していくことで、より一層の企業価値向上に努めてまいります。



TOPIC 2 すまい・建築・都市の環境展 ecobuild2011へ出展

平成23年9月26日～28日に東京国際フォーラムにて開催されました“建築と都市の地球環境ソリューション”をテーマに、環境性能とデザイン性を兼ね備えた製品や技術を紹介する「第10回すまい・建築・都市の環境展 ecobuild2011」に出展いたしました。

3日間の開催で600名以上の方々に当社ブースへ足を運んでいただきました。

また、「第24回世界建築会議 東京大会」の併催もあり、外国の方々にも当社並びに当社の新商品「コンドーフラインファイバー」（次ページの「製・商品のご紹介」をご参照下さい）をご紹介させていただきました。



TOPIC 3 滋賀工場にてアンカーボルトのJISを取得

平成23年3月の九州工場に続き、平成23年9月に滋賀工場においても、土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材である「アンカーボルト」のJISマーク表示制度による認証を新たに取得いたしました。

今後も、当社製品を安心してご使用いただけるよう、最高品質の製品を供給してまいります。



滋賀工場

認証機関 一般財団法人 日本品質保証機構
 認証番号 JQ0511006・JQ0511007
 認証品目 JIS B 1220（構造用転造両ねじアンカーボルトセット）
 JIS B 1221（構造用切削両ねじアンカーボルトセット）



アンカーボルト

当社では、さまざまな場面で使用されます、およそ40,000点の製・商品を扱っております。その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

●コンドーフラインファイバー ～地球再生を考慮した新素材～

「コンドーフラインファイバー」は、合成樹脂に適する繊維を混合した高性能バインダ（接着剤）です。特殊な製法によって、合成樹脂の利点である耐久性・耐薬品性・耐水性を保持しながら、高い強度を持たせております。当社では、この「コンドーフラインファイバー」を販売するとともに、これを用いた各種工法の提案や技術指導を行っております。

防滑工法 スパイクI（スパイク ワン）

道路のマンホールなどの表面には、しま模様などの滑り止め加工が施されていますが、降雨などにより表面に水膜がつくと滑りやすくなります。コンドーフラインファイバーを用いた防滑工法の「スパイクI」では、マンホールの表面に細かくて硬い炭化ケイ素の粒を密着させることで、表面の加工模様はそのままに、「強烈なスパイク効果」を生み出し、歩行者をはじめ、自転車やオートバイのスリップや転倒による事故を防止します。



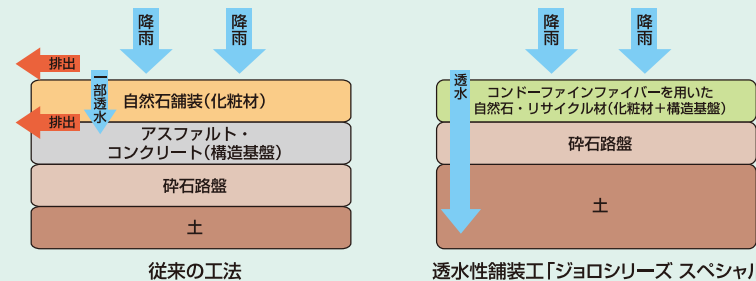
施工前

施工後

透水性舗装工法 ジョロシリーズ スペシャル

公園や遊歩道などの路面舗装において、従来の工法では、コンクリートやアスファルトの構造基盤の上に自然石やコンクリートを加工したレンガ状の化粧材を敷きつめており、降雨時の雨水はその構造基盤の上を伝い、土の中へ還元される事なく、川や海へ排出されています。

コンドーフラインファイバーを用いた透水性舗装工法の「ジョロシリーズ スペシャル」は、コンドーフラインファイバーの強力な接着力で、自然石やリサイクル材などを強固に点でつなぐことができ、コンクリートやアスファルトの構造基盤を必要とすることなく、化粧材でありながら構造としての基盤強度を発揮します。また、優れた透水性をもち、雨水を土の中へ還元することができる地球環境に優しい工法です。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)	増 減
■資産の部			
流動資産	15,998	15,874	123
① 現金・預金	2,102	3,396	△1,294
受取手形・売掛金	9,691	9,754	△63
たな卸資産	2,612	2,341	271
② 信託受益権	1,160	—	1,160
その他の流動資産	461	486	△25
貸倒引当金	△29	△104	75
固定資産	10,040	10,319	△279
有形固定資産	8,513	8,636	△122
建物・構築物	2,168	2,240	△72
機械装置・運搬具	526	577	△50
土地	5,752	5,752	—
その他の有形固定資産	66	66	0
無形固定資産	429	485	△55
ソフトウェア	187	211	△24
のれん	214	244	△30
その他の無形固定資産	28	28	△0
投資その他の資産	1,097	1,197	△100
③ 投資有価証券	597	705	△108
その他の投資等	695	660	35
貸倒引当金	△195	△167	△27
資産合計	26,038	26,194	△155

Point ① 現金・預金

現金・預金につきましては、次ページの「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」をご参照下さい。

Point ② 信託受益権

余剰資金運用の一環として、当社の一括支払信託に係る信託受益権を取得したことにより、増加しました。

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)	増 減
■負債の部			
流動負債	9,630	10,071	△441
支払手形・買掛金	4,177	4,573	△396
④ 短期借入金	650	900	△250
未払金	3,420	3,299	120
未払法人税等	443	457	△13
その他の流動負債	938	840	97
固定負債	1,760	1,741	19
退職給付引当金	1,184	1,166	17
その他の固定負債	576	574	1
負債合計	11,391	11,812	△421
■純資産の部			
株主資本	15,899	15,554	344
資本金	2,328	2,328	—
資本剰余金	2,096	2,096	—
利益剰余金	11,973	11,628	344
自己株式	△498	△498	△0
その他の包括利益累計額	△1,251	△1,173	△78
その他有価証券評価差額金	325	390	△64
繰延ヘッジ損益	△7	6	△13
土地再評価差額金	△1,569	△1,569	—
純資産合計	14,647	14,381	266
負債・純資産合計	26,038	26,194	△155

Point ③ 投資有価証券

投資有価証券の時価評価替えに伴い、減少しております。

Point ④ 短期借入金

子会社において短期借入金の返済を行っております。当社は無借金体制を継続しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	増 減
⑤ 売上高	18,607	16,966	1,640
売上原価	14,603	13,551	1,052
売上総利益	4,003	3,415	588
販売費及び一般管理費	3,102	3,019	82
⑥ 営業利益	901	395	506
営業外収益	78	80	△1
受取利息配当金	3	3	0
仕入割引	55	54	1
その他の営業外収益	18	22	△3
営業外費用	39	33	6
支払利息	1	2	△0
売上割引	24	22	2
その他の営業外費用	13	9	4
経常利益	940	442	498
特別利益	0	262	△262
固定資産売却益	0	—	0
投資有価証券売却益	—	217	△217
その他の特別利益	—	44	△44
特別損失	1	4	△3
固定資産除売却損	1	3	△2
投資有価証券評価損	—	1	△1
税金等調整前四半期純利益	939	699	239
法人税・住民税及び事業税	433	264	169
法人税等調整額	△7	51	△58
四半期純利益	513	383	129

Point ⑤ 売上高

災害復旧や耐震資材を取扱う当社グループとして、震災後の緊急需要や台風による土砂災害・河川の氾濫などの災害復旧需要に、当社グループの総力を結集し順次対応し、前年同期比9.7%増となりました。

Point ⑥ 営業利益

鋼材などの原材料や仕入商品の値下げ努力により、売上総利益率が1.4ポイント改善が図られたことに加え、販売管理費の削減に取り組みました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
⑦ 営業活動による キャッシュ・フロー	352	158
⑧ 投資活動による キャッシュ・フロー	△1,228	△492
⑨ 財務活動による キャッシュ・フロー	△418	△468
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の 増減額	△1,294	△802
現金及び現金同等物の 期首残高	3,396	3,234
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,102	2,432

現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は2,102百万円となりました。主な要因は次のとおりです。

Point ⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の増加や仕入債務の減少などの減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益の増加などの増加要因により、352百万円の収入となりました。

Point ⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー

信託受益権の取得1,256百万円の支出があり、1,228百万円の支出となりました。

Point ⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済及び配当金の支払い等により418百万円の支出となりました。

- ▶ 社 名 コンドーテック株式会社
 (英文名 KONDOTEK INC.)
- ▶ 本 社 大阪市西区境川二丁目 2 番 90 号
- ▶ 設 立 昭和 28 年 1 月 14 日
- ▶ 資 本 金 23 億 2,810 万円
- ▶ 従 業 員 559 名 (連結 659 名)
- ▶ 連結子会社 三和電材株式会社

主要な事業内容

当社グループは、土木用・建設用・荷役用・船舶用金物、鋼材、溶接資材、鋸螺及び電設資材の製造販売並びに輸出入を主な事業としております。

- ▶ 役 員
- 代表取締役社長 菅 原 昭
- 常務取締役 平 田 茂
- 常務取締役 安 藤 朋 也
- 常務取締役 滝 水 莞 爾
- 取締役 堀 江 重 男
- 取締役 近 藤 勝 彦
- 取締役 山 田 清 夫
- 取締役 宮 晴 夫
- 取締役 (社外取締役) 徳 田 勝 夫
- 常勤監査役 河 瀬 哲 夫
- 監査役 (社外監査役) 北 山 諒 一
- 監査役 (社外監査役) 辰 野 文 彦

主な製品・商品 | The main product and commodity

産業資材

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、各種チェーン、コンテナバッグ、ブルーシート、土のう袋、物流荷役機器、木造住宅金物、型枠部材、仮設足場、現場用品、船舶・港湾関連資材、鉄鋼二次製品、環境関連資材、街路・緑化関連資材、鉄道関連資材 他



鉄構資材

ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、溶接・塗装資材、機械工具、施工工事 他



電設資材

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他

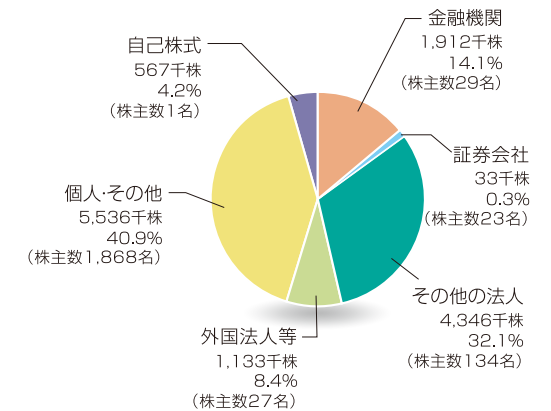


- ▶ 発行可能株式総数 30,000,000 株
- ▶ 発行済株式総数 13,528,500 株
- ▶ 株主数 2,082 名
- ▶ 単元株式数 100 株
- ▶ 大株主

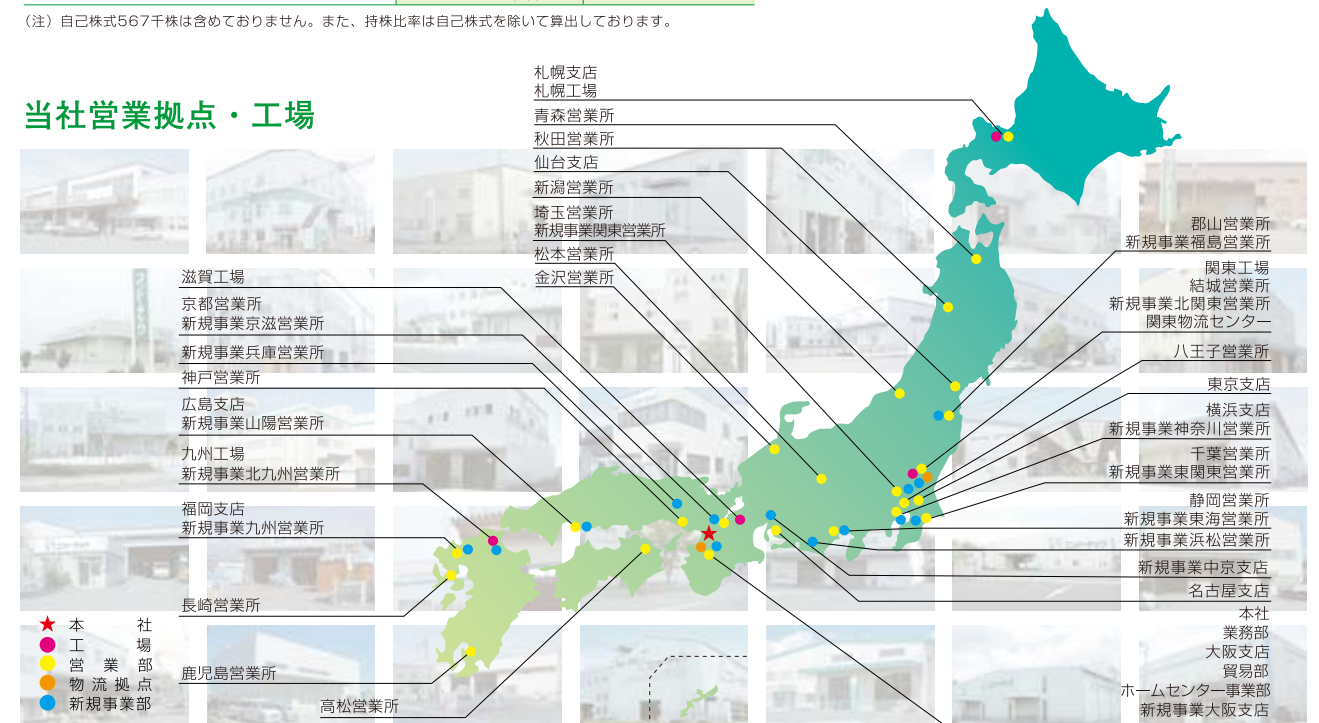
株主名	持株数	持株比率
有限会社藤和興産	1,507千株	11.6%
ビービーエイチフォーティファイロープライスストックファンド	999千株	7.7%
コンドーテック社員持株会	773千株	6.0%
大阪中小企業投資育成株式会社	623千株	4.8%
株式会社Fプランニング	450千株	3.5%
近藤 純位	401千株	3.1%
株式会社三菱東京UFJ銀行	376千株	2.9%
近藤 勝彦	372千株	2.9%
近藤 雅英	332千株	2.6%
近藤 延滋	330千株	2.5%

(注) 自己株式567千株は含めておりません。また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

所有者別株式分布状況



当社営業拠点・工場



タイ駐在員事務所 (Kondotec Inc. Representative office in Thailand)

連結子会社 三和電材株式会社 (本社 名古屋市区) 営業所 12ヶ所

● コンドーテックホームページのご案内

決算ハイライト、ニュースリリース、決算短信、有価証券報告書などの開示情報のほか、取扱製品・商品などさまざまなコンテンツをご用意しております。ぜひご覧下さい。

インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索

● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先
お取引のある証券会社になります。
- ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合わせ先 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



コンドーテック株式会社

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号
TEL 06-6582-8441 ir24@kondotec.co.jp

2011年11月発行

当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。

